

1 日常の学習状況・課題について

(1) 学習状況について

- ①発想や構想および創造的な表現の学習に対する取組については、学年が上がるごとに、積極的に課題に取り組む生徒が、増加している。
- ②美術への関心は低かったが、3年になり格段によく取り組んでいる。
- ③鑑賞の学習に関して、じっくりと対象と向き合ってみる力や深く考える力の不足により、自己表現と結びつけて深化させることが難しい生徒も見られる。

(2) 学習の課題について

- ①学習面・独創力、発想力の不足。ゲームソフトやアニメなど、どこかで見たようなもののコピーをしがちな傾向がある。もう一步、自分の表現を深められると良い。参考作品などからヒントを得て発想につなげることが難しい者も多い。対象をていねいに見る姿勢はできてきている。

2 改善の計画

- (1)発想力を引き出すための手がかりとして、資料等の工夫をする。
- (2)ホワイトボードを使い、授業のねらいや具体的な目標をその時間ごとに簡潔に示す。
- (3)参考作品や参考図書をできるだけ多く用意し、美術室での展示も工夫することにより、生徒の意欲とイメージーションを高める。
- (4)作業進度の速い生徒に対する課題を用意する。作業進度の遅い生徒については可能な限り個別指導を行う。学びあいを有効に活用する。
- (5)道具の準備・片付け、作品配布の方法を工夫し、それに費やす時間の短縮を図る。
- (6)鑑賞と表現が連結した指導計画を工夫する。
- (7)課題ごとに制作手順を明確に示し、個々の生徒が計画的に見通しをもった取り組みをできるようにする。
- (8)効果的な場面でグループ形式の学び合い学習を取り入れていく。
- (9)基礎知識を分かりやすく指導するためにビジュアルで解説するなどの工夫をする。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。